

みんなで作る横濱写真アルバム 市民が記録した150年

記念シンポジウム

街の歴史の再発見と次代への継承

横浜開港 150 周年記念事業「みんなで作る横濱写真アルバム—市民が記録した 150 年—」の趣旨・意義を広め、多くの市民に参加を呼び掛けるため、記念シンポジウムを開催します。全国各地で展開されている、「写真」を題材とした市民参加型プロジェクトの先進事例もご紹介します。ふるってご参加ください。

当日は、スキヤニングコーナーを設置いたします。本 WEB サイトへの投稿に際してデジタル化したい写真がありましたらご持参ください。アルバムの場合には対応ができませんので、あらかじめご了承ください。

【開催日時】

2009年3月22日(日)

11:30 「みんなで作る横濱写真アルバム」事業説明会

どなたでも参加できます。本事業に関心がある個人・団体の参加を歓迎します。12 時 30 分まで。

13:30 開会あいさつ

小此木歌蔵氏（横浜写真アーカイブ実行委員会委員長）
山崎洋子氏（Y150 市民参加プラットフォーム推進委員会委員長）
川口良一氏（横浜市開港 150 周年・創造都市事業本部長）

13:45 基調講演

佐野真一氏

（ノンフィクション作家）

記録されたものしか記憶されない
庶民の暮らしを撮った民俗学者・宮本常一の足跡と業績

1947 年生まれ、早稲田大学文学部卒業後、業界紙を経てフリーに。97 年、『旅する巨人 宮本常一と渋沢敬三』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。出版不況の構造を分析した『誰が本を殺すのか』はベストセラーとなった。著書に、『響きと怒り—事件の風景・事故の死角』日本放送出版協会、『阿片王満洲の夜と霧』新潮社、『宮本常一（KAWADE 道の手帖）』河出書房新社、『だれが「本」殺すのか 延長戦 Part2』プレジデント社、『東電 OL 症候群』新潮社、『宮本常一が見た日本』日本放送出版協会、『カリスマ 中内ダイエーの戦後』〈上・下〉新潮文庫、ほか多数。



14:30 横浜におけるデジタルアーカイブの取り組み

【みんなで作る横濱写真アルバム—市民が記録した 150 年—】
和田昌樹氏（横浜写真アーカイブ実行委員会企画部会委員、
桜美林大学准教授）

【IT 技術を活用した港南郷土史のデジタルアーカイブ】
亀野哲也氏（貞昌院副住職）

【モボ・モガを探せ— BankART1929 の取り組み】
渡邊 曜 氏（BankART1929）

【休憩】(10 分)

15:25 他都市におけるデジタルアーカイブの事例報告

事例報告①【Hakodadigital：地域の記憶の情報化】
川嶋稔夫氏（函館マルチメディア推進協議会会長、
公立ほこだて未来大学大学院教授）

事例報告②【「琉球フォトセッション：「写真」と「もの語り」の
コラボレーション」】

垂見健吾氏（NPO 法人ちゅらしまフォトミュージアム代表）

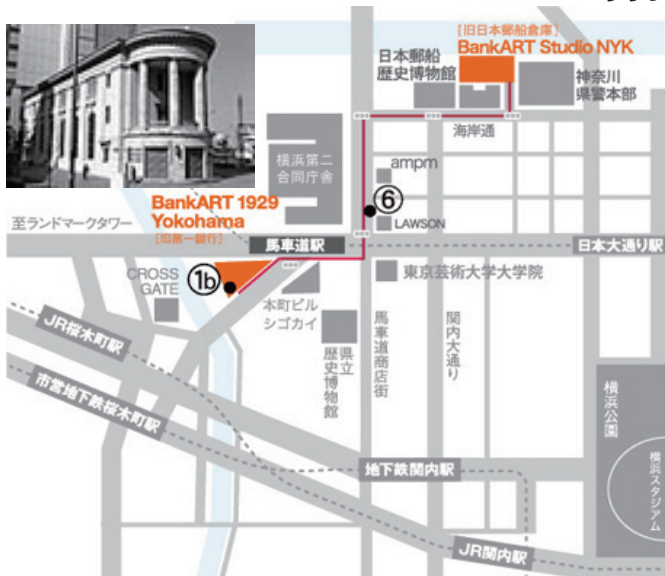
事例報告③【市民による市民のためのデジタルアーカイブ】
丸山高弘氏（NPO 法人地域資料デジタル化研究会副理事長）

16:10 フリーディスカッション

「市民生活の記録と記憶—写真、その魅力」
パネリスト：佐野氏、亀野氏、渡邊氏、川嶋氏、垂見氏、丸山氏
コーディネーター：和田氏

【開催場所】

BankART 1929 Yokohama 3階



〒231-8315 横浜市中区本町 6-50-1 TEL：045-663-2812

【交通機関】

横浜みなとみらい線「馬車道駅」1b 出口（野毛・桜木町口（アイランドタワー
連絡口）

JR・市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩 5 分

JR・市営地下鉄「関内駅」下車徒歩 7 分

主催：横浜写真アーカイブ実行委員会
共催：Y150 市民参加プラットフォーム推進委員会
協力：BankART 1929 横浜市民メディア連絡会

【お問い合わせ先】 みんなで作る横濱写真アルバム事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通 34 番地 ZAIM 本館 301 号室 TEL：045-309-9944 / D-FAX：020-4666-6061 eMail：info@yokohama-album.jp